

山田市政 第2期 始動!

将来にわたって持続可能な白石市、
選ばれるまち白石市を目指す!

去る10月25日執行の白石市長選挙におきまして、多くの市民の皆さまからご信任を賜り、引き続き二期目の市政の重責を担わせていただくこととなりました。今後は、これまでの4年間の経験を生かしながら、皆さま方から寄せられた信頼と期待に応えるべく、「市民とともに」さらにも「健康・文教都市創造」の実現に向け、誠心誠意、努力してまいります。

少子高齢化と人口減少、人口の一極集中など近年の社会情勢の変化の中にあつて、変わらぬもの・変わってはいけないものが多く存在する一方、これまで通りのやり方が通用しなくなつており、守るべきものは守りながら、柔軟かつ大胆に変革することも必要となつていきます。時代に残り残されず、将来にわたって「持続可能な白石市」となるためには、変化を恐れず、積極的に改革に取り組みなければ



10月25日、任期満了に伴う白石市長選挙が行われ、即日開票の結果、現職の山田裕一市長が再選を果たし、11月14日に第18代白石市長に就任しました。今号では、山田市長の2期目の方針などを紹介します。

なりません。

市長就任後、市議会議員時代にも増して、国会議員・首長・地方議員・官僚・経済界など、多くの方とご縁をいただき、つながりを築くことができました。あらゆるネットワークを最大限に活用するとともに、自らも努力を惜しまず、さまざまな施策の実現に向けて全力を尽くしてまいります。

引き続き、「市政課題を先送りしない」「将来世代にツケを残さない」という思いを胸に市政運営にあたりながら、将来にわたって持続可能な白石市、選ばれるまち白石市をつくりあげてまいります。

市民とともにさらに前へ

賑わい交流拠点「しろいしSun Park」

地方創生の核となる事業として整備を進めていた農商工連携を核とした賑わい交流拠点「しろいしSun Park」。本年5月に地元食材活用レストラン「みのりキッチン」がオープンしたことで、拠点全体のグランドオープンを迎えました。

平成30年8月にオープンした子育て支援・多世代交流複合施設「こじゅうろうキッズランド」は、開館から約2年で14万人以上の方が利用。また、昨年4月には、農産物等販売施設「おもしろいし市場」がオープンし、約1年6カ月で約60万人の方に訪れていただき、施設間の相乗効果により、新たな賑わいが創出されています。

また、同敷地内にある6次産業化加工施設「みのりファクトリー」と商品開発・研修施設「みのりラボ」、「みのりキッチン」は民設民営により整備を進め、地域食材の提供・発信・高付加価値化などを進めています。

「しろいしSun Park」のさらなる賑わい創出のため、引き続き支援してまいります。



1_新鮮な地元野菜が充実の「おもしろいし市場」 2_東北最大級の屋内遊び場「こじゅうろうキッズランド」 3_地元食材活用レストラン「みのりキッチン」 4_賑わい交流拠点「しろいしSun Park」



教育環境の充実

教育委員会と連携しながら、現在、実施している学力向上プロジェクトや、英語検定補助を行い、教育環境のさらなる充実を図ってまいります。

また、深谷保育園に替わる私立認可保育園の整備や、ひかり幼稚園が認定こども園に移行するための施設整備を支援することで待機児童の解消に努め、市民が安心して子どもを産み育て、子どもが健やかに成長できるまちづくりを推進します。



▲来年4月深谷地区に開園予定の「白石みのり保育園」

ふるさと納税を通じた「新たな」自主財源確保と返礼品による地場産業の振興

ふるさと納税は、地場産品を返礼品とすることで、地域経済の活性化にもつながります。

白石市のふるさと納税額は、平成28年度は約1,100万円でしたが、令和元年度は、50倍強の約5億6,400万円まで増加しました。さらなる本市の知名度や魅力向上のため、ふるさと納税額の向上を目指します。

